

日本食・食文化の海外普及について

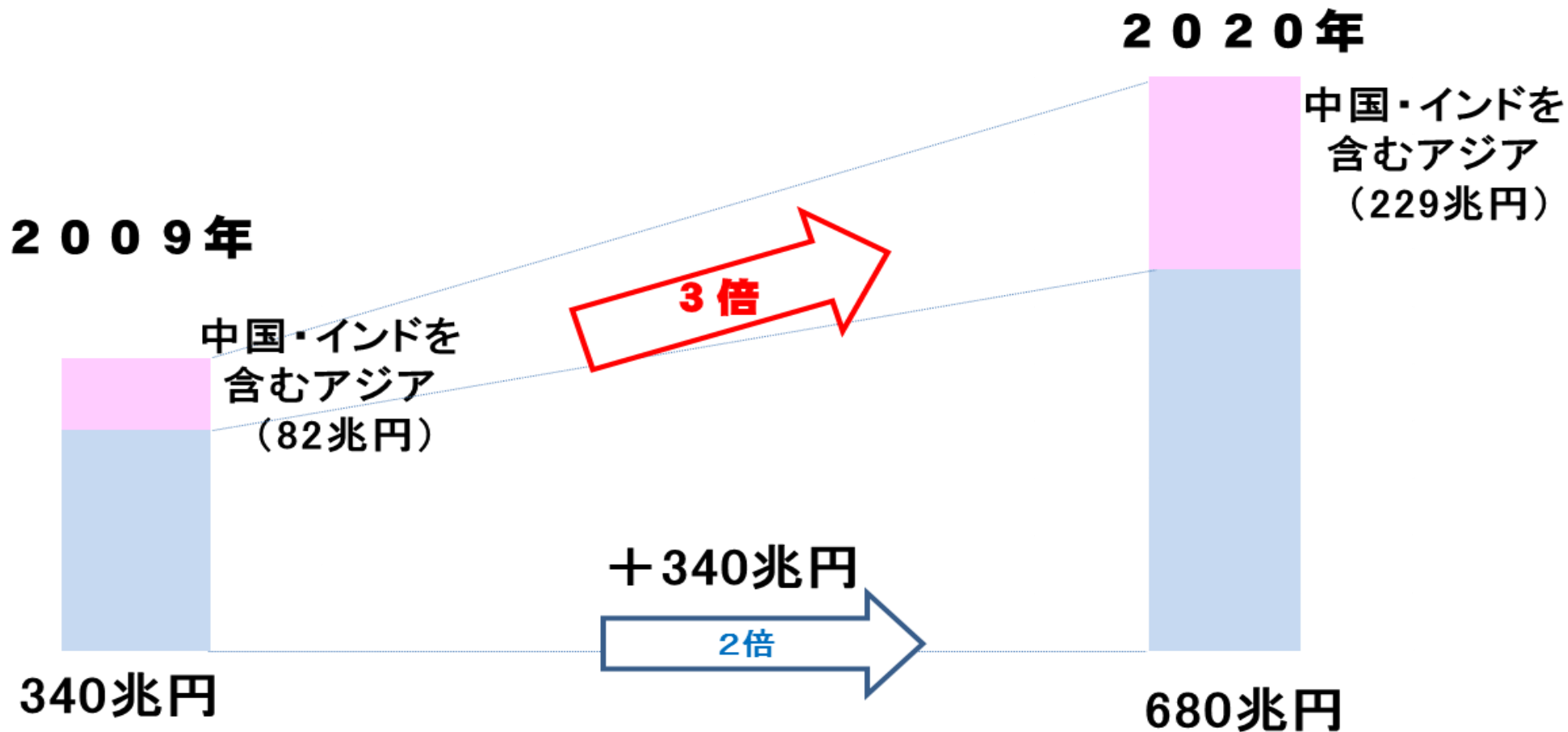
食料産業局食品小売サービス課外食産業室

平成 2 5 年 6 月

農林水産省

○ 世界の食の市場規模（加工＋外食）

- 現在340兆円の世界の食の市場規模は、2020年には680兆円に倍増
- 特に、中国・インドを含むアジア全体で考えると、市場規模は2009年の82兆円に比べ、229兆円へと約3倍増



資料：ATカーニー社の推計を基に農林水産省作成

注1：2009年為替平均値である1ドル94.6円で換算

2：中国・インドを含むアジアとは、中国、香港、韓国、インド、ASEAN諸国の合計

3：市場規模に日本は含まない（日本は、58兆円（2009年）から67兆円（2020年）へと約1.2倍に拡大）

○ 世界で日本の「食」が注目されている

和食ブーム

- 外国人観光客が
「訪日前に期待すること」
1位「食事」(62.5%)

出典: JNTO 訪日外客訪問時調査(2010年)

- 外国人が好きな外国料理
**1位「日本料理」
(83.8%)**

出典: 日本貿易振興機構調査(2013年3月)

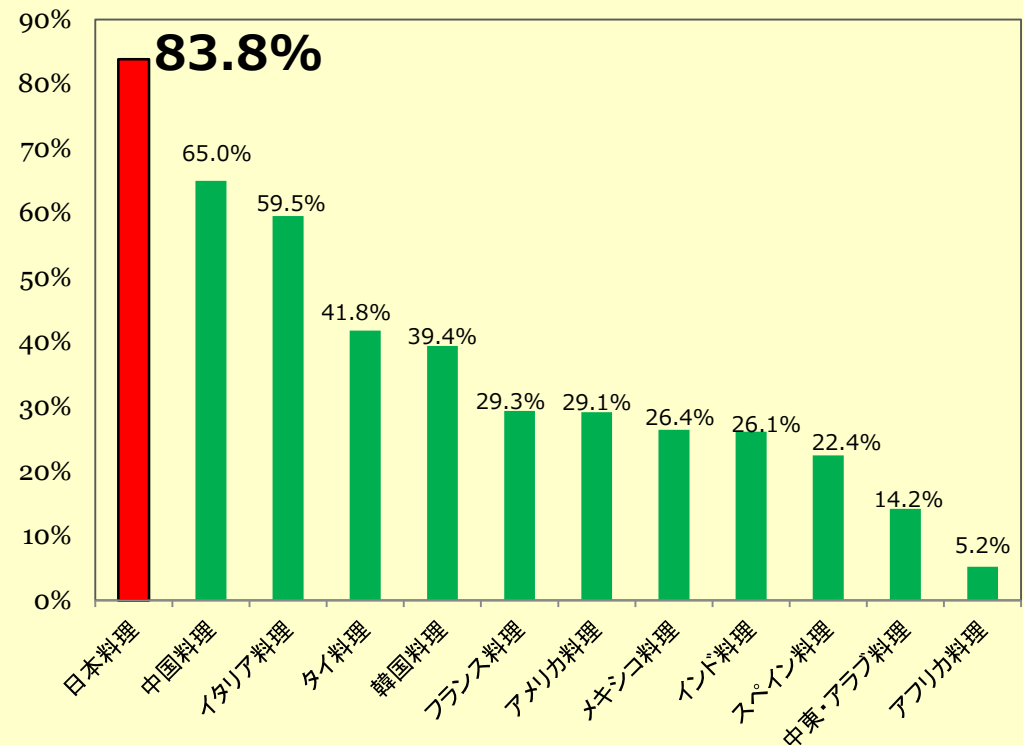
※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合
(自国の料理は選択肢から除外)

- 海外の日本食レストランの数
**2013年
約5万5千店**

(外務省調べ、農林水産省推計)

食を文化としてとらえる世界の潮流

好きな外国料理 (7カ国全体結果)



※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合。(自国の料理は選択肢から除外)

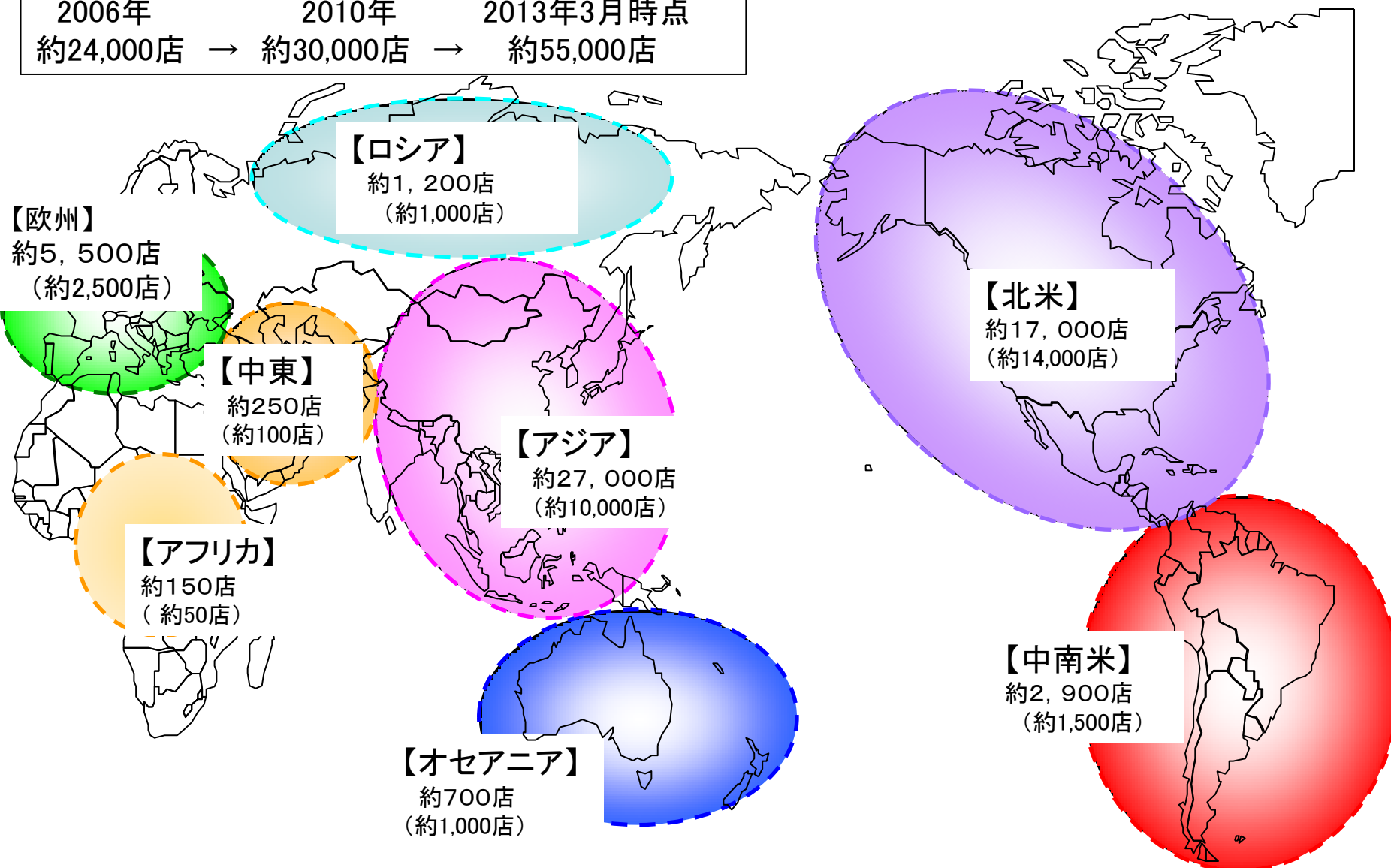
出典: 日本食品に対する海外消費者意識アンケート調査 JETRO(2013年3月)



○ 海外における いわゆる「日本食レストラン」店舗数の推移

※2013年に 外務省・在外公館の調査協力のもと、農林水産省が推計した店舗数

2006年 2010年 2013年3月時点
約24,000店 → 約30,000店 → 約55,000店



※カッコ内 …… 2006年「日本食レストラン海外推奨有識者会議」資料を元に、2010年時点の情報整理のうえ掲載(農林水産省推計)

○ 日本食・食文化の普及の事例（日本食レストラン海外普及推進機構(JRO)の事例）

- 海外の日本食レストランは、日本食のショールームとして現地での日本食・食文化の普及推進の入り口になるとともに、高品質な日本食材の素晴らしさを世界に発信する拠点としても重要であると認識。
- 食材の大口ユーザーでもある海外日本食レストランの発展とともに、日本産食材の利用拡大を図ることは、輸出促進にとっても重要。

○ 日本食レストラン海外普及推進機構(JRO)の主な活動実績

- 平成19年 3月 海外日本食レストラン認証有識者会議から「日本食レストラン推奨計画」発表
7月 NPO法人日本食レストラン海外普及推進機構(JRO)発足
(*) JRO支部設立: 台北、上海
- 平成20年 3月 日本食レストラン国際フォーラム(東京)開催
5月 全米レストラン協会主催NRAショー2008に出展(以後5年連続出展)
(*) JRO支部設立: バンコク、ロンドン、アムステルダム、ロサンゼルス、モスクワ、スイス、ニューヨーク
- 平成21年 3月/10月 国際シンポジウム(東京)開催
(*) JRO支部設立: シンガポール、ソウル、ローマ・ミラノ、パリ、香港
- 平成22年 3月 国際シンポジウム(香港)開催
9月 海外調理人日本食研修
11月 東・東南アジア地区国際セミナー(上海)開催
(*) JRO支部設立: シドニー、トロント、サンフランシスコ、北京、デュッセルドルフ
- 平成23年 1月 IRFS(NY)に出展
9月 PIR(モスクワ)にて日本料理コンテスト
10月 「祭り」 in Sydney 2011 へ出展
(*) JRO支部設立: ジャカルタ、ホーチミン
- 平成24年 3月 「JAPAN WEEK」(NY)開催
4~6月 「Japanese Cuisine Course」をオランダの料理学校(モンドリアン校)にて開設
10月 バンコクにて東南・東アジアの外食事業者を招いて国際シンポジウムを開催
- 平成25年 3月 フランス・パリの名門料理学校ル・コルドン・ブルーにて日本食講座を実施
《この他、各支部において勉強会・日本食フェア・メニュー提案商談会等を実施》

【JROの海外における取組み】

日本食への理解を深め、実需者と食材供給者を結びつけ、輸出促進を図る。

●海外日本食のネットワークの確立

都市単位を基本に、日本食レストランの共通の課題解決や情報交換の場としてのネットワークを作る。

●現地支部との具体的活動

現地支部(現在21支部)の要請に応じ、普及啓発、教育研修、メニュー提案等に取り組むとともに、輸出促進に向けた課題抽出と解決方策の実践的検証を実施。

○ 日本食・食文化の普及の事例（従来にない日本食・食文化の普及手法）

1 概要

2012年7月、ロンドン五輪ジャパンハウスでのVIPレセプション

ロンドンTOPシェフによる日本食材の紹介と提供

2012年8月、香港FoodEXPOジャパンパビリオンにて日本酒セミナー

日本酒の歴史や醸造方法、種類などの説明とともに日本酒の飲み方を提案

2012年9月、サマーダボス会議のサイドイベント「ジャパンナイト」

和洋中の料理別に相性の良い日本の地酒を提供

2013年1月、ダボス会議のサイドイベント「ジャパンナイト」

欧州で注目されている弁当スタイルで酒と食をセットで提供

2013年2-3月、フランスにおける日本食文化週間

現地フランス人の発案による日本食文化の総合的な情報発信

2013年4-5月、安倍総理・江藤副大臣がロシア・中東でトップセールス

2013年6月、安倍総理とオランダ仏大統領とのワーキングランチ開催

安倍総理の訪問にあわせて、ワルシャワでの日本食レセプション



2 発見した現場の宝

①《イノベーションのポイント》

- ・ 現地トップシェフを活用し、需要側である受入国の視点で日本食・食文化の魅力を発信する**新しいスキームを創出**。
- ・ 食べ合せとして相性の良い料理とお酒の組合せを提案する**新しい提供スタイル**。

②《イノベーションによる効果》

- ・ 各国の食文化になかった、「新鮮、ヘルシー、UMAMI」をもつ日本食文化が紹介され、**驚きと関心をもって迎えられた**。
- ・ JETRO調査では、米国を除く全ての主要国において「**日本料理**」が**人気第1位**。

○ 日本食・食文化の理解促進に繋がる事案

日本食文化のユネスコ無形文化遺産への登録申請

- 日本人が日々食べる「和食」が、「自然の尊重」という精神の下に、様々な特徴を持った社会的慣習を体現している点を強調。

- ＜特徴＞
- ① 多様で新鮮な食材とその持ち味を尊重している
 - ② 栄養バランスに優れた健康的なものとなっている
 - ③ 食事の場で自然の美しさ、季節の移ろいを表現している
 - ④ 食事が年中行事と密接な関わりを持っている



- 国民アンケートでは91.8%が登録申請を支持。全国約1,500の郷土料理に関する草の根グループ等が賛同。
- 文化庁、外務省、関係団体等と一体となって登録実現に向け取組中(登録の可否は平成25年末に決定予定)。

平成27年ミラノ国際博覧会への公式参加

- 「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに開催する、世界初めての食に関する万博。
- 既に日本を含む128の国と地域が参加表明。(平成25年5月時点)
- 日本館の基本計画を平成25年3月に策定し、次年度以降日本館や展示物、行催事の準備を加速。
- 農林水産省内に「ミラノ万博チャレンジ本部」を立ち上げ、経済産業省、関係業界等と一体となって取り組む。



(参考) 日本食の海外における評価

- 外国人観光客が「訪日前に期待すること」の1位は「食事」(62.5%)
- 海外の日本食レストランは最近急増
(2006年:約2万4千店 → 2013年:約5万5千店超)

○ 平成25年度予算要求の内容 「日本の食を広げるプロジェクト」(40億円の内数) ～海外展開型～

日本食・食文化普及推進事業(補助)

① 日本食レストランウィーク事業

海外の主要都市において、複数の日本食レストラン等が連携して、一般生活者に対する日本食の魅力を伝えるパネルディスカッションや食文化及び日本食材の輸出促進につながる料理の提供・サービス等の取組を、一定期間複数組み合わせることで実施するとともに、当該都市及び周辺地域の日本食レストランマップの作成を実施する。

② 百貨店等における料理、日本産品デモ等事業

海外の主要都市の百貨店等において、一般生活者に対する日本食、食文化及び日本食材の魅力を伝える料理デモンストレーション、日本産食材を活用した料理レシピコンテスト、セミナー、試食・試飲会等を一定期間実施する取組を行う。

③ 料理学校等を活用した魅力ある日本食・食文化等の普及事業

日本食・食文化の魅力、並びにその調理法を一般生活者等に広めるため、海外教育機関等と連携した日本食講座等の開設、カリキュラム・テキストの作成、講師派遣等を一定期間実施する取組を行う。

④ 海外外食事業者向けマッチング事業

海外の外食事業者団体等が主催する見本市等に、輸出に意欲のある国内の先進的な生産者や食品事業者等を出展させることで、日本国内の先進的な取組事例を海外の業界関係者やメディア関係者、シェフ、バイヤー、輸出入業者等へ発信するとともに、出展者の商談をサポートする取組等を行う。

日本食・食文化の世界的普及プロジェクト事業(委託)

① 海外での日本食・食文化フェスティバルを通じた理解促進

海外の主要な一般生活者が入場可能な食品見本市等のスペースにおいて、日本館を設置し、JETRO等の輸出促進事業と連携のうえ日本食・食文化の普及のための取組等を行う。

② 海外の日本食・食文化普及人材の育成

日本食・食文化を普及させる人材の育成を行う。より効率的に日本食・食文化を普及させるため海外の著名なシェフ・ソムリエ、流通関係者等に対して教育・人材育成を行う。

③ 世界のハブ都市における日本食・食文化情報発信拠点の設置

海外の都市において、一般生活者等に対し日本食・食文化の魅力を継続して発信するための拠点を設置し、定期的普及活動と農林漁業者等が企画する試験販売等の取組等により浸透を図る。

④ 日本食文化週間の開催

海外の主要都市において、一般生活者に対する日本食・食文化の魅力を発信する啓蒙的な食イベントを、一定期間複数組み合わせることで実施する取組等を行う。

⑤ 広報メディア、WEB等を活用した魅力発信、理解促進

海外の記者・ジャーナリスト等に対し、日本食・食文化の魅力や農林漁業者・食品事業者等の取組を紹介するとともに、海外のTV・WEB等も活用することで、日本食・食文化の魅力発信・理解促進を図る取組等を行う。

⑥ 被災地産品を中心とした日本食品輸出回復プロモーション

海外での展示会、国際会議等の集客を活用して、被災地産品を中心とした日本産農林水産物のプロモーションを実施し、海外における被災地産品等の輸出の回復を図る。

⑦ 日本食文化の発信に優れたコンテンツの表彰

日本食・食文化の世界発信に寄与する優良コンテンツ(映画、マンガ、アニメ等)の表彰を実施する。